

The correspondence of two-syllable verbs derived from Chinese in Japanese and Korean

YOON Jeongin

Abstract

In this paper, I examine the starting point for formulating the “basic Sino-Japanese verbs (basic *kango dousi*)” for Korean vocabulary education, especially for the introduction of *kango dousi* at universities in Japan. A total of 1290 *kango dousi* (VN-suru) was selected from two dictionaries, then analyzed and classified into the two categories of positive transfer and negative transfer.

When viewed within strict standards, two-syllable VN-suru verbs show a positive transfer of over 80% in both Japanese and Korean. From these two-syllable VN-suru verbs, 500 will be selected as basic *kango doshi*, with the additional criteria found from frequency surveys based on newspaper editorials, for utilization in Korean language classes. The verbs will then be categorized according to three appropriate vocabulary levels.

日韓両言語における2字漢語動詞の対応 —1290語の分析と「基本漢語動詞」の策定—

尹 亭 仁

1. はじめに

日本の大学の韓国語教育において、初級レベルで導入される語数は使用するテキストによるところが大きい。週1回の授業を想定して作ったものなのか、2回を想定して作ったものなのかにもよるが、筆者の3種類の教材を対象にした簡易調査では、481～1019語が導入されていた。韓国語の多くのテキストで用いられている語彙は、概ねこの間で推移していると思われる。

筆者の場合、とりわけ動詞は何語くらいで、どのような動詞が初級レベルの「基本動詞」として導入されているのかが大きな関心事である。3種類の市販の初級テキストの索引で、日本の「和語動詞」に相当する韓国語の「固有語動詞」の語数を調べたところ、(1) の 27 語が共通していた。少ないテキストの場合は 50 語で、多い場合は 83 語であった。このようなデータは筆者の今後のテキスト作成や本学の初級共通テキストの改訂の際に参考になる。

- (1) 가다／行く・가르치다／教える・걸다／歩く・걸리다／かかる・기다리다／待つ・놀다／遊ぶ・놓다／置く・되다／なる・마시다／飲む・

만나다／会う・만들다／作る・말하다／話す [言う]・먹다／食べる・배우다／習う・보내다／送る・보다／見る・살다／生きる [暮らす・住む]・／싫어하다嫌がる [嫌う]・쓰다／書く・알다／知る [分かる]・오다／来る・읽다／読む・있다／ある [いる]・자다／寝る・좋아하다／好きだ [好む]・타다／乗る・하다／する [やる]

漢語動詞についても、同じく3種類のテキストの索引で調べた結果、(2a) の「공부(工夫)하다／勉強する」だけ載っているものから (2b) の 11 語載っているもの、(2c) の 13 語載っているものまで、ばらつきが見られた。(2a) の場合、本文に「하숙(下宿)하다／下宿する」の用例が見られたが、索引には名詞の「하숙／下宿」のみが載っていた。(2b) と (2c) の場合、下線部の 6 語が共通している。筆者の大学における韓国語教育の経験からこの 6 語は基本漢語動詞として認めてもよさそうである。

- (2) a. 공부(工夫)하다／勉強する
- b. 감사(感謝)하다／感謝する · 계산(計算)하다／計算する · 공부(工夫)하다／勉強する · 대답(對答)하다／答える · 목욕(沐浴)하다／お風呂に入る [沐浴する] · 부탁(付託)하다／お願いする · 시작(始作)하다／始める [始まる] · 운동(運動)하다／運動する · 전화(電話)하다／電話する · 청소(清掃)하다／掃除する · 축하(祝賀)하다／祝う
- c. 감사(感謝)하다／感謝する · 결석(缺席)하다／欠席する · 공부(工夫)하다／勉強する · 구입(購入)하다／購入する · 도착(到着)하다／到着する · 부탁(付託)하다／お願いする · 시작(始作)하다／始める [始まる] · 운동(運動)하다／運動する · 이용(利用)하다／利用する · 주문(注文)하다／注文する · 축하(祝賀)하다／めでた

い [祝う] · 출발(出發)하다／出發する · 환승(換乘)하다／乗り換える

(2a) のテキストは筆者が現在初級クラスで使用している市販のもので、採用の理由は文法項目の提示が分かりやすかったからである。しかし、今回の語彙調査で全語数が他のテキストの半分以下であることが判明したため、補う方法を考えている。(2b) のテキストは筆者が信頼を寄せている韓国語のテキストの1つであり、(2c) は本学で使用している初級共通テキストの1つである。今後大学における韓国語教育のためにも、このような語数によるテキストのチェックも必要であり、テキストの作成時に準拠できる「基本動詞」の策定も必要であると思われる。

(2abc) の場合、いずれも「漢語+하다 hada」だけカウントしたため、語数が少ないが、索引に出ている「요리(料理)／料理」「투표(投票)／投票」「회의(會議)／会議」などを含めると30語以上になるテキストもある。近年市販のテキストでは、韓国語の索引に漢字を入れ、日本語と対照させたり、同じ漢字を用いる場合、日本語訳の下に線を引いたりするものも増えてきた。しかし、管見によれば、語彙の体系的導入を試みているテキストはまだないようである。

漢語動詞は上記の初級レベルから中級、上級と、レベルが上がるにつれ、より多く用いられるようになる。特に中級以上の「読解」には頻出している。韓国語関連の各種検定試験にも漢語動詞が多く用いられている。この漢語動詞は日韓両言語に共通する動詞の下位グループで、両言語において、(2bc) の「감사(感謝)하다／感謝する」「운동(運動)하다／運動する」「주문(注文)하다／注文する」のように漢語動名詞 (Verbal Noun、以下、VNと略す) が共通する語も多いが、「공부(工夫)하다／勉強する」「부탁(付託)하다／お願ひする」「시작(始作)하다／始める」のように対応しない語

も少なくない。

言うまでもないことであるが、外国語教育において語彙をより体系的に導入するためには様々な工夫が必要である。現在、筆者は動詞の下位分類、例えば（1）の固有語動詞、（2abc）の漢語動詞、外来語動詞、複合動詞など、「形態的クラスター」または「形態的シソーラス」を用いて導入する方法を試みている。日韓両言語において、語数が最も多いのは漢語であり、導入時には漢語同士の共通項が必要である。筆者は、とりわけ「漢語VN-する／漢語VN-하다 hada」という形態的共通項のある漢語動詞に対象をしづり、対応関係に注目している。

本稿では、漢語動詞の中で9割近くを占めている2字漢語動詞の対応関係を日本語から捉え、導入がしやすい正の転移の漢語動詞の選定を行なう。さらに初級レベルから導入せざるを得ない負の転移の漢語動詞の用法も含め、初級・中級・上級の3つのレベルに望ましい漢語動詞と語数を策定したい。本稿では、日本語からのアプローチと提示できる語彙についての選定基準を得るべく、2つの日本語の辞書を対象に語彙調査を行った。これの結果に基づいて大学における韓国語教育に還元できる「基本漢語動詞」の策定を試み、より体系的に提示できるたたき台として提案したい。

2. 先行研究の考察

尹亭仁・崔英姫（2018：134）では、韓国の『中央日報』の1年間（2016年）の「社説」を対象に漢語動詞の語彙調査を行ない、異なり語数1,560の2字漢語動詞の使用を報告している。さらに、尹亭仁（2019：4）では、韓国のも最も権威のある文学賞の10年間（2006–2015）の受賞作品を対象に語彙調査を実施し、異なり語数1,613の2字漢語動詞の使用を報告している。この2つの語彙調査から新聞と小説に用いられる漢語動詞には

偏りがあることが浮き彫りになった。筆者はこの2つの調査から得た共通語彙918語に日本の大学で使用されているテキストから82語を加え1000語の「韓国語教育に必要な基本漢語動詞」のリストを作成した。調査と作成に数年かかったこのリストを韓国語の授業に導入し、体系的提示と活用を試みたが、運用に苦戦を強いられた。日本語を母語とする韓国語学習者は、筆者が思っていた以上に韓国の新聞や小説を難しく受け止める傾向が強かったためである。また、語数も多く語彙のレベルも高かったと思われる。最近、学習者の反応、学習者への聞き取り調査などから韓国語からのアプローチより日本語からのアプローチがスムーズかつ効果的であることが分かった。導入する漢語動詞の方向転換と提示の工夫が求められているのである。

尹・崔（2018：148）では、日本における韓国語の教材の場合、漢語動詞は初級レベルで約30～50語、中級レベルでは50～150語、上級レベルなら150～300語ほどの提示が望ましいと述べているが、具体的にどのような漢語動詞をどのレベルで提示すればいいのかまでは触れていない。第5章で取り上げるが、これは簡単に提示できるものではないからである。

尹亭仁（2015）では、韓国語から捉えた際に見えてくる日韓両言語の漢語動詞の負の転移について概観し、その際に用いた負の転移の分類に従い、日本語から見えてくる負の転移を大まかに取り上げている。本稿での考察と合わせて、両言語の漢語動詞の負の転移は全体的な整理が必要である。

3. 日韓両言語における基本漢語動詞の策定

3.1 漢語動詞の全体の数

筆者の調査によると、日韓両言語にはともに7000語以上の2字漢語VNがある¹⁾。筆者はそれぞれ「韓日漢語動詞7000」（仮称）と「日韓漢

語動詞 7000」（仮称）と名付けた基本資料集を作成した²⁾。この資料集に基づくと、両言語において約 3000 語は無理なく正の転移につながりそうである。しかし、大学の韓国語教育の現場で取り上げるには語数が多い。筆者は「正の転移 470 語」と「負の転移 30 語」に韓国語からの負の転移 50 語を加えた 550 語が望ましいと思い、その提示のための頻度調査とレベルの策定に取りかかっている。

3.2 漢語動詞の使用語数

韓国語での 2 種類の語彙調査および『朝日新聞』の「社説」（2019 年・2020 年）の調査から、日韓両言語は〈表 1〉のような語数の 2 字漢語 VN を用いていることが分かった。しかし、これを直ちに韓国語教育に適用するわけにはいかない。

〈表 1〉 4 つの語彙調査にみる 2 字漢語動詞の語彙数

調査対象	語彙数
『中央日報』「社説」（2016 年）	1,560 語
『李箱文学賞受賞作品集』（2006-2015）	1,613 語
『朝日新聞』「社説」（2019 年）	1,272 語
『朝日新聞』「社説」（2020 年）	1,228 語

新聞の「社説」の場合、韓国語の方の語数が多いが、これには 5.3 で取り上げる「可能表現」の派生の相違が反映されている。日本語の漢語動詞の可能表現の「VN-できる」はカウントされないが、韓国語の可能表現は「VN-하다」の活用形であるため、カウントされるのである。

3.3 語彙調査の対象

本稿では、規模の大きくない辞書に載っている動詞リストを対象に語彙調査をし、その結果を韓国語教育に還元する形を取ることにした。長年辞

書の編修に携わってきた筆者の経験から、見出し語が30,000語を超えると使用語彙のみならず理解語彙も増えてくるため、調査と分析に相当時間がかかる。大学4年間の韓国語教育に還元できる調査用辞書はそこまで大きくなくてもいいのである。本稿では、調査対象として、728語の動詞の用法を丁寧に詳しく取り上げた『日本語基本動詞用法辞典』(1989)と13,000語規模の『デイリー日韓英辞典』(2017)を選定した。

4. 2つの辞書にみる両言語の対応の様子

今回の調査では、見出し語が「VN-する」で、対応する韓国語が「VN-하다 hada」のものをピックアップした。漢語動詞の後項要素である「-する」は「補助動詞」として分類されるが、韓国語の「-하다」は「接尾辞」として分類される違いはある。

4.1 『日本語基本動詞用法辞典』(1989) の漢語動詞の語数

『日本語基本動詞用法辞典』(1989)の見出し語は728語で、とりわけ漢語動詞は169語である。1字漢語動詞が4語(愛する・感する・信する・対する)、2字漢語動詞が165語、3字および4字漢語動詞はない。30年以上も前の辞書だからなのか、外来語は1つもない³⁾。和語動詞は559語で、比重が大きいことが分かる。これは(1)と(2)で見た韓国語の初級テキストでの固有語動詞と漢語動詞の比重に通じるところがある。

4.2 『デイリー日韓英辞典』(2017) の漢語動詞の語数

『デイリー日韓英辞典』(2017)には見出し語が約13,000語載っている。今回の調査で、〈表2〉のような結果が得られた。動詞は全部で2,710語載っており、漢語動詞は1,278語で48.4%を占めていた⁴⁾。とりわけ、2字

〈表2〉『デイリー日韓英辞典』(2017)の漢語動詞の内訳

漢語動詞 1,312	1字動詞	27	愛する・演じる・応じる・課する・感じる…
	2字動詞	1,278	挨拶する・悪用する・悪化する・圧縮する・暗記する・暗殺する・暗示する・暗唱する・安心する・安定する・案内する…
	3字動詞	5	再検討する・再利用する・商品化する・二等分する・立候補する
	4字動詞	2	四捨五入する・途中下車する

漢語動詞は97.4%を占めており、圧倒的と言えそうである。『デイリー日韓英辞典』(2017)に和語動詞は1,300語載っており、辞書の見出しの語数が多くなるにつれ、漢語動詞の比重が大きくなることが分かった。『デイリーコンサイス国語辞典』(2010)には約73,000語が載っており、漢語動詞は7,240語で全語数の約10%を占めている。

『デイリー日韓英辞典』(2017)に(3)は漢語動詞ではなく漢語名詞として載っている。これらを含めると、漢語動詞の比重はさらに大きくなる。

(3) 錯覚・参考・冒険・放火・暴行・保釀・発作・密壳・矛盾・瞑想・免税・面接・面談・妄想…

(4a) の5語は『日本語基本動詞用法辞典』(1989)の165には含まれていないが、『デイリー日韓英辞典』(2017)の1,278語には含まれていない。(4b)は『デイリー日韓英辞典』(2017)に漢語名詞としてしか載っていない⁵⁾が、『日本語基本動詞用法辞典』(1989)の提示を優先し漢語動詞としてカウントした。

(4) a. 試合する・失礼する・受験する・信仰する・報告する
b. 喧嘩・食事・都合・努力・迷惑・予定・乱暴

『日本語基本動詞用法辞典』(1989) の165語と『デイリー日韓英辞典』(2017) の1,278語からは延べ語数1,443語、異なり語数1,290が得られた。本稿では、この異なり語数1,290を「基本漢語動詞」のたたき台として用いたい。以下では、このデータを《基本漢語動詞1290》と呼び、正の転移と負の転移への分類、語数の確認などの作業をし、初級・中級・上級のレベルに必要な語数の策定を試みる。

4.3 《基本漢語動詞1290》にみる正の転移の語数と様子

母語が目標言語の習得を促すことを「正の転移」と言い、習得の妨げになることを「負の転移」と言う。日韓両言語の間には語順をはじめ助詞の用法、漢語の存在などが正の転移として挙げられる。本稿で取り上げている漢語動詞も両言語間から正の転移が見られる例である。

《基本漢語動詞1290》において、日韓両言語にみる正の転移と負の転移の語数と割合は(5ab)のようになる。

- (5) a. 正の転移：1,057語 (81.93%)
- b. 負の転移： 233語 (17.52%)

今回の調査で、正の転移は(6)のように、たとえ誰が翻訳をしてもほぼ同じ漢語VNになる場合のみカウントした。

(6) 「VN-スル」と「VN-하다」の対応

<u>握手</u> する	<u>악수</u> (握手)하다
<u>暗示</u> する	<u>암시</u> (暗示)하다
<u>意識</u> する	<u>의식</u> (意識)하다
<u>運動</u> する	<u>운동</u> (運動)하다

説明する 설명(説明)하다

尹亭仁・車香春（2014）では、韓国語の漢語動詞に対して日本語は7割強の正の転移を呈していると述べられている。今回の調査で日本語の漢語動詞に対して韓国語は8割弱を呈していることが分かった。これは4.4で取り上げる厳密な分類による結果で、通常なら8割強または9割弱の結果になったと思われる。

(7) のように、一方が漢語動詞で、もう一方が文脈によって他の動詞と共に起しうる場合も正の転移としてカウントした。

(7) 声援する／声援を送る	성원(聲援)하다／성원을 보내다
電話する／電話をかける	전화(電話)하다／전화를 걸다
判決する／判決を下す	판결(判決)하다／판결을 내리다
注意する／注意を払う	주의(注意)하다／*

しかし、(8abc) のように、文脈によって「-하다」ではない接辞を取りうる場合は、カウントしなかった。この類は尹亭仁（2020）で「하다／되다共存動詞」と呼ばれるもので、日本語の「VN-する」に対して韓国語は文脈によって「VN-하다」か「VN-되다 doida」が対応する類である。筆者が『동아 새 국어사전（東亜新国語辞典）』第5版（1989／2003）を対象に全数調査をした結果、550語以上が確認された。この対応のずれが従来日韓対照言語研究の中で最も多く取り上げられていた。《基本漢語動詞1290》には110語も含まれており、全体の8.45%を占め、負の転移の中で最も多い語数である。「하다／되다共存動詞」は語数も多いが、(8) のように、頻度の高いVNも含まれているため、中級以上のレベルでは負の転移、すなわち学習の妨げとして立ちはだかる問題である。

(8) a. 接近する	접근(接近)하다 > 되다
到着する	도착(到着)하다 > 되다
b. 関連する	관련(關聯)하다 / 되다
対応する	대응(對應)하다 / 되다
c. 安定する	안정(安定)하다 < 되다
感染する	감염(感染)하다 < 되다

「하다／되다共存動詞」は（8abc）のように異なる様子を呈する。（8a）は、どちらかというと、「VN-하다」が対応する類である。（8b）は文脈によって「VN-하다」が対応する場合もあり、「VN-되다」が対応する場合もある。（8c）は主に「VN-되다」が対応する類である。筆者はだいぶ前から小説・新聞記事を中心に「하다／되다共存動詞」の用例を集めているが、傾向が少し見えてきただけで、住み分けの根拠までは把握できていない。これらの全体的様子と例は4.4.1で取り上げる。

4.4 負の転移の語数と様子

《基本漢語動詞1290》から233語が負の転移を呈していた。〈表3〉のような様子が見られた。以下で、詳しく用例を見てみよう。

4.4.1 「하다／되다共存動詞」が対応する場合：110語

韓国の国語辞典に550語以上載っている「하다／되다共存動詞」にどのような漢語VNが含まれているかを見てみよう。（8abc）で取り上げたように様々な対応の様子を呈しているので、《基本漢語動詞1290》から得られた110語を大まかに分類し、（9abcd）に提示する。終止形より連体形、特に過去連体形の方が「VN-되다」になりやすい傾向が見られた。

〈表3〉 負の転移につながる 233 語の内訳

	負の転移の様子	語数	割合
1	「하다／되다共存動詞」が対応する場合	110	47.21%
2	対応する韓国語の漢語 VN では意味が通じない場合	42	18.03%
3	漢語 VN に対応する同じ漢語 VN がない場合	39	16.74%
4	対応する「VN-하다」が形容詞の場合	10	4.29%
5	主に「-하다」ではなく他の動詞と共に起する場合	9	3.86%
6	対応する韓国語が主に受身形の「VN-되다」になる場合	8	3.43%
7	日本語だけが漢語動詞の場合	4	1.72%
8	同じ漢語 VN でも意味が異なる場合	4	1.72%
9	漢字の読み方が類推できない場合	4	1.72%
10	対応する韓国語が自動詞「VN- 되다」になる場合	3	1.29%

(9) a. 主に「VN-하다」になる VN : 53 語

依存・一致・化合・加入・加盟・休戦・給水・興奮・交差・合流・自滅・執着・集合・出血・昇給・衝突・上昇・蒸発・進級・衰退・精通・潜伏・全滅・墮落・対立・沈没・定着・適応・転向・転落・到着・燃焼・破産・破滅・爆発・発生・発達・発展・発病・繁殖・腐敗・分布・没落・蔓延・命中・滅亡・癒着・落選・落第・隣接・狼狽・老化・和解

b. 文脈によって「VN-하다」にも「VN-되다」にもなる VN : 21 語

榮転・関連・緊張・挫折・収縮・進化・進歩・成熟・成長・成立・接近・対応・脱落・陶酔・同化・派生・変化・変貌・崩壊・膨張・密集

c. 主に「VN-되다」になる VN : 33 語

悪化・安定・萎縮・感染・共通・屈折・欠乏・決裂・孤立・好転・座礁・従属・重複・所属・浸水・進展・水没・遭難・沈滯・停滞・

転移・伝染・当選・破裂・風化・分裂・変色・変動・摩滅・落伍・
落着・流入・連続

d. 意味が通じにくい VN : 3語

集金(집금)・脱臼(탈구)・沸騰(비등)

4.4.2 対応する韓国語の VN では意味が通じない場合 : 42語

この類は韓国の国語辞典が抱えている問題点の1つである。すなわち、理解語彙としても意味が通じないため、本当に韓国語として使われているのかどうかが分からぬ類である。辞書からの単純分類なら、正の転移になるが、本稿では用法まで視野に入れ負の転移にした。(10) の例を見てみよう。

(10) 引退する 인퇴(引退)하다

帰宅する 귀택(歸宅)하다

苦労する 고로(苦勞)하다

稽古する 계고(稽古)하다

梱包する 곤포(梱包)하다

日本語では頻度の高いこの類は、翻訳の際に意味が通じないため、他の語彙または表現になる。学生の作文にこのような韓国語が使われる場合、筆者は表現を直す。作文に「帰宅時間」を「귀택 시간」とした学生がいたら「귀가(歸家) 시간」にして返却するだろう。この「返却する」に対応する「반각(返却)하다」も辞書にはあるが、使われない。羽田空港内の店では〈図1〉と〈図2〉のように対応していた。「반각(返却)」ではなく「반환(返還)」になっている。韓国では、「返却口」に対応する言葉として〈図3〉の「퇴식구(退食口)」が用いられているところもある。図書などの



図1 収却（羽田空港・2019）



図2 反환（羽田空港・2019）



図3 退식구（ソウル・構内食堂・2021）

返却の場合は「반납(返納)」になる。

4.4.3 対応する「VN-하다」が形容詞の場合：10語

(11a) の7つの漢語動詞に対応する韓国語はいずれも漢語形容詞である。韓国語において、漢語動詞も漢語形容詞も同じく「漢語 VN-하다」の形を取るため、辞書形では区別がつかない。現在連体形になった場合、漢語動詞は「VN-하는」に、漢語形容詞は「VN-한」になる。また、日本語は動詞であるため、「V-ている」形が可能であるが、韓国語はできない。例えば、「不足している」の場合、韓国語は「부족(不足)하다」の現在形しか成り立たないが、日本語を母語とする韓国語学習者の作文からは「부족하고 있다」のような母語干渉も散見される。

- (11) a. 緊迫する・混雜する・混乱する・充実する・衰弱する・適合する・不足する・類似する
 b. 洗練する
 c. 亂暴する

(11b) の「洗練する」は『大辞林』(2019)に見出し語として載っているが、用例は「洗練された」になっている。韓国語も「-された」に相当する接尾辞の「-되다」が接続した「세련(洗練)된」の連体形を取る場合がほとんどであり、品詞は形容詞になる。(11c) の「乱暴する」も韓国語は形容詞で、「난폭(亂暴)한 사람／乱暴に振る舞う人・乱暴な振る舞いをする人」のように性格や振る舞いを表わす場合に用いられており、意味もずれている。

4.4.4 漢語 VN に対応する同じ漢語 VN がない場合：39語

(12) のような漢語 VN が挙げられるが、これには、漢字が変わった「暗唱（暗誦）」「抽選（抽籤）」などの漢語 VN も含まれる。

- (12) 挨拶する・暗唱する・右折する・遠慮する・介助する・我慢する・怪我する・下痢する・喧嘩する・見物する・降参する・左折する・仕度する・試着する・辞儀する・邪魔する・承知する・心配する・世話する・堪能する・馳走する・抽選する・頂戴する・都合する・白状する・文通する・勉強する・返事する・迷惑する・油断する・用意する・用心する・来日する・留年する・了解する・了承する・連携する・和訳する・湾曲する

4.4.5 主に「VN-하다」ではなく他の動詞と共に起する場合：9語

漢語 VN の中には (13b) のように、「VN-하다」より他の動詞と共に起する場合が多い語もある。(13a) を用いる韓国人は多くないと思われる。9語なので、全部提示する。特に漢語 VN の意味が「移民する」「遠征する」「出張する」のように「移動」を表わす場合、移動動詞の「가다／行く」との共起が強くなると思われる。

(13) 移民 <u>する</u>	a. 이민(移民) <u>하다</u>	b. 이민(을) <u>가다</u>
遠征 <u>する</u>	a. 원정(遠征) <u>하다</u>	b. 원정(을) <u>가다</u>
恐喝 <u>する</u>	a. 공갈(恐喝) <u>하다</u>	b. 공갈치다
出張 <u>する</u>	a. 출장(出張) <u>하다</u>	b. 출장(을) <u>가다</u>
転勤 <u>する</u>	a. 전근(轉勤) <u>하다</u>	b. 전근(을) <u>가다</u>
逃亡 <u>する</u>	a. 도망(逃亡) <u>하다</u>	b. 도망 <u>가다</u> ／도망을 <u>치다</u>
拍手 <u>する</u>	a. 박수(拍手) <u>하다</u>	b. 박수를 <u>치다</u>
負傷 <u>する</u>	a. 부상(負傷) <u>하다</u>	b. 부상(을) <u>입다</u> ／당하다
留学 <u>する</u>	a. 유학(留學) <u>하다</u>	b. 유학(을) <u>가다</u>

2021年度後期の中級クラスの作文に「負傷した」の意味で「부상했어요」を書いて提出した学生がいた。筆者は「부상을 입었어요」に直して返却したが、「다쳤어요」が用いられる場合もありうる。

4.4.6 対応する韓国語が主に受身形の「VN-되다」になる場合：8語

(14) の8語の韓国語の中で (14a) は「自他両用動詞」、(14b) は他動詞である。これらの漢語 VN は主に受身形の「VN-되다」になる場合が多い。すなわち、日本語との対応において、「通用하다」「顛覆하다」ではなく「通用되다」や「顛覆되다」の活用形で用いられるため、負の転移にな

る。

- (14) a. 通用する・転覆する・腐食する・溶解する
 通用되다・顛覆되다・腐蝕되다・溶解되다
 b. 遅延する・波及する・流通する・累積する
 遲延되다・波及되다・流通되다・累積되다

尹亭仁（2020：12）で取り上げられているように、「VN-되다」の品詞は多岐にわたっており、非常に複雑な派生状況を呈する。(15) のように5つに下位分類できる。

- (15) 「VN-되다」の品詞
- a. VN-되다 (形容詞)
 - b. VN-되다 (自動詞)
 - c. VN-하다／되다 (共存動詞)
 - d. VN-되다 (自他両用動詞の受身動詞)
 - e. VN-되다 (他動詞の受身動詞)

「VN-되다」は(15bc)のように自動詞の場合もあるが、(15de)のように「VN-하다」から派生した受身動詞の場合もある。形容詞の「VN-되다」は「세련(洗練)되다」以外に確認はできていないが、「VN-되다」の成り立ちの複雑さは日韓両言語の対照研究においてもっとも頻繁に負の転移が起きているところである。

4.4.7 日本語だけが漢語動詞の場合：4語

今回の《基本漢語動詞 1290》からは、(16)の4語が見られた。尹亭

仁・車香春（2014：16）の『デイリーコンサイス韓日辞典』（2009）の分析によると、日韓両言語における負の転移の中で、韓国語だけが漢語動詞の類が最も多い。筆者の追加調査によると、650語以上に上る。

- | | |
|-----------|------------|
| (16) 影響する | 영향(影響)／＊하다 |
| 故障する | 고장(故障)／＊하다 |
| 鼓動する | 고동(鼓動)／＊하다 |
| 捻挫する | 염좌(捻挫)／＊하다 |

「故障する」は（17ab）のように両言語の学習者の会話や作文でよく母語干渉による誤用になる。

- | |
|------------------------------|
| (17) a. 韓国語母語話者の会話 |
| * そうすると <u>故障</u> になるよ。 |
| そうすると <u>故障する</u> よ。 |
| b. 日本語母語話者の作文 |
| * 어제 세탁기가 <u>고장(故障)</u> 했어요. |
| 어제 세탁기가 <u>고장(故障)</u> 났어요. |

4.4.8 同じ漢語 VN でも意味が異なる場合：4語

(18a) の4語は両言語において意味が異なっており、対応する韓国語は（18b）ではなくそれぞれ（18c）の意味になる。

- | |
|---|
| (18) a. <u>議論</u> する b. <u>의논(議論)</u> 하다 c. 相談する |
| a. <u>工夫</u> する b. 공부(<u>工夫</u>)하다 c. 勉強する |
| a. <u>自慢</u> する b. 자만(<u>自慢</u>)하다 c. 驕る・自信に満ちている |

- a. 退去する b. 퇴거(退去)하다 c. 転居する

4.4.9 漢字の読み方が類推できない場合：4語

(19) の4語は、通常の読み方とは違うため、正しい韓国語の読みにならない可能性が高い。この場合、それぞれ (19a) ではなく (19b) の読み方になる。

- | | | |
|-----------|---------|-------------|
| (19) 殺到する | a. 살도하다 | b. 죄도(殺到)하다 |
| 相殺する | a. 상살하다 | b. 상쇄(相殺)하다 |
| 推敲する | a. 추고하다 | b. 퇴고(推敲)하다 |
| 敗北する | a. 패복하다 | b. 패배(敗北)하다 |

4.4.10 対応する韓国語が「VN-되다」になる場合：3語

《基本漢語動詞 1290》からは、3語が見られたが、全部で約20語ある。この類は「하다／되다共存動詞」から「VN-되다」に用法が固着したものと見られるが、筆者が集めている用例を見る限り、今後増えそうである。
(9c) はその予備軍とも言える。

- | | |
|-----------|----------|
| (20) 汚染する | 오염(汚染)되다 |
| 熟練する | 숙련(熟練)되다 |
| 麻痺する | 마비(麻痺)되다 |

(20) 以外に「枯渴する／고갈(枯渴)되다」「充血する／충혈(充血)되다」「発覚する／발각(發覺)되다」「矛盾する／모순(矛盾)되다」などが含まれる。

ここまで、《基本漢語動詞 1290》の中で負の転移を呈していた233語の対応の様子について取り上げた。様子がかなり複雑ではあるが、正の転移

に比べると少ない語数である。以下では正の転移を示す漢語 VN とともに負の転移を示す漢語 VN を韓国語の授業でどのように提示したらいいのかについて取り上げたい。

5. 体系的提示を目指して

筆者は現在、韓国語初級 2 クラス、中級 2 クラス、上級 1 クラスを担当している。前期のみの中上級クラスも 1 つある。いずれの授業でも漢語動詞の活用に力を注いでいる。今回の《基本漢語動詞 1290》の対応関係の調査から厳しく捉えても 8 割以上の正の転移が確認できた。語数が最も多かった 4.4.1 の負の転移の中で (9a) は文脈によって正の転移にもなる。8 割強もしかして 9 割弱が正の転移につながると学生たちの学習に対する心理的負担も小さくなると思われる⁶⁾。以下では、レベルごとにどのような漢語 VN を何語導入するのが望ましいかについて論じたい。

5.1 初級レベルの場合

初級レベルで、「短文解釈」や「長文読解」などのパートを設けているテキストはほとんどないが、(2abc) で取り上げたように、10 語以上の漢語動詞が用いられている。これに漢語名詞のみで提示されているものを含めると、30 語は超える。市販のテキストでの使用語彙と筆者の長年の教授経験から (21) の 50 語を初級レベルの漢語動詞として策定するつもりである⁷⁾。

(21) 初級レベルに必要な漢語動詞：50 語

a. 正の転移

暗記する・安心する・案内する・移動する・意味する・運転する・

運動する・外出する・外食する・感謝する・管理する・期待する・
 禁止する・計算する・化粧する・結婚する・欠席する・参加する・
 出国する・出席する・出発する・準備する・使用する・紹介する・
 招待する・食事する・生活する・卒業する・注意する・駐車する・
 注目する・注文する・電話する・入学する・入国する・発音する・
 発表する・満足する・無視する・約束する・予約する・理解する・
 利用する・料理する・旅行する

b. 負の転移：5語

挨拶する	인사(人事)하다
故障する	고장(故障)이 나다
仕度する	준비(準備)하다
心配する	걱정하다
勉強する	공부(工夫)하다

初級の場合、「관리(管理)하다／管理する」「무시(無視)하다／無視する」「약속(約束)하다／約束する」「요리(料理)하다／料理する」「운동(運動)하다／運動する」「준비(準備)하다／準備する」など、日韓両言語間で発音が似ている単語から導入するのもよい方法であると思い、なるべくこのような漢語 VN を提示すべく努めている。また、(22) のように、漢語 VN が用いられる複合語についても隨時取り上げている。

(22) 계산기(計算機) · 운동장(運動場) · 운동화(運動靴) · 화장실(化粧室) ·
화장지(化粧紙)

市販のテキストでは、本文に漢語動詞が用いられている場合、索引に(23a) のように提示し、漢語名詞が用いられている場合は、名詞のみ提示

しているのが多いが、(23b) のような提示を提案したい。漢語動詞としての用法があることを示しておくのである。

- (23) a. 本文に漢語動詞としての用法がある場合

<u>요리</u> 하다	料理する
<u>운동</u> 하다	運動する

- b. 本文に漢語名詞のみの用法がある場合

<u>도착</u> (하다)	到着(する)
<u>신청</u> (하다)	申請(する)

5.2 中級レベルの場合

筆者は受け持っている2クラスの中級で、「短文解釈」と「読解」で文法項目の確認を行なっている。「読解」の場合、新聞記事や様々な書籍より文学や芸術の内容をピックアップして提示しているため、難しい漢語VNが出てくる場合もある。そのため、《基本漢語動詞 1290》から頻度や普段接する回数を考慮した150語の提示が望ましいと考える。

- (24) 中級レベルに必要な漢語動詞：150語

(正の転移 140語 + 負の転移 10語)

- a. 正の転移：140語

- b. 負の転移：10語

右折する	우회전(右回轉)하다
遠慮する	삼가다
我慢する	참다／인내(忍耐)하다
見物する	구경하다
左折する	좌회전(左回轉)하다

邪魔する	방해(妨害)하다
自慢する	자랑하다
世話する	돌보다
返事する	답장(答狀)하다
油断する	방심(放心)하다

5.3 上級レベルの場合

上級レベルになるとさらに「長文読解」は難しくなる。《基本漢語動詞1290》から上級用として300語を策定したい。

(25) 上級レベルに必要な漢語動詞：300語

(正の転移 285語 + 負の転移 15語)

- a. 正の転移：285語
- b. 負の転移：15語

悪化する	악화(悪化)되다
影響する	영향(影響)을 미치다
感染する	감염(感染)되다
怪我する	다치다
不足する	부족(不足)하다 (形容詞)
類似する	유사(類似)하다 (形容詞)
喧嘩する	싸우다
苦勞する	고생(苦生)하다
稽古する	연습(練習)하다
逃亡する	도망(逃亡)가다
拍手する	박수(拍手)치다
沸騰する	물이 끓다

返却する	반환(返還)하다／반납(返納)하다
矛盾する	모순(矛盾)되다
来日する	일본(日本)에 오다

『基本漢語動詞 1290』に基づいてここまで提示した漢語動詞のレベルと語数を整理すると〈表4〉のようになる。

〈表4〉 《基本漢語動詞 1290》のレベル分けと語彙数

導入する総語彙数	レベル	正の転移の語彙数	負の転移の語彙数
1,057 [正の転移]	初級用	45 (4.26%)	5 (2.15%)
+ 30 [負の転移]	中級用	140 (13.25%)	10 (4.29%)
	上級用	285 (26.49%)	15 (6.44%)
	超級用	587 (56.00%)	*

今回、初級レベルでの正の転移 45 語と負の転移 5 語の提示はできたが、中級の正の転移 140 語や上級の 285 語の具体的提示には至らなかった。頻度調査による根拠を得てから提示したい。その根拠を得るため『朝日新聞』の 3 年間（2019-2021）の「社説」を対象に語彙調査を進めている。『朝日新聞』の「社説」から 2 字漢語 VN は平均 1,200 語前後が得られると予想している。韓国の新聞の「社説」の場合、日本語より語数が多いが、これには (26ab) の「可能表現」の違いが反映されているためである。日本語の可能表現は「漢語 VN+できる」であるためカウントされないが、韓国語の場合は「漢語 VN+하다」の活用形であるため、カウントされるのである。『朝日新聞』の頻度調査ではこの点にも注意を払いたい。

- (26) a. 管理できる 관리(管理)할 수 있다
 調整できる問題 조정(調整)할 수 있는 문제(問題)

b. <u>이해(理解)할</u> 수 없는 일	理解できないこと
<u>중개(仲介)할</u> 수 있는 사람	仲介できる人

初級・中級・上級レベルで導入する必要がある日本語からの負の転移
30語をまとめて(27)に提示する。

(27) 挨拶する	인사(人事)하다
悪化する	악화(惡化)되다
右折する	우회전(右回轉)하다
影響する	영향(影響)을 미치다
遠慮する	삼가다
我慢する	참다／인내(忍耐)하다
感染する	감염(感染)되다
怪我する	다치다
苦労する	고생(苦生)하다
稽古する	연습(練習)하다
喧嘩する	싸우다
見物する	구경하다
故障する	고장(故障)이 나다
左折する	좌회전(左回轉)하다
仕度する	준비(準備)하다
自慢する	자랑하다
邪魔する	방해(妨害)하다
心配する	걱정하다
世話する	돌보다
心配する	걱정하다

逃亡する	도망(逃亡)하다
拍手する	박수(拍手)치다
不足する	부족(不足)하다 (形容詞)
沸騰する	물이 끓다
返却する	반환(返還)하다／반납(返納)하다
返事する	답장(答狀)하다
勉強する	공부(工夫)하다
矛盾する	모순(矛盾)되다
油断する	방심(放心)하다
来日する	일본(日本)에 오다
類似する	유사(類似)하다 (形容詞)

5.4 韓国語からの負の転移：50 語

日韓両言語において、正の転移は漢語 VN 同士で行き来できるが、負の転移は互いに誤用になる。負の転移はそれぞれの言語にあるため、両言語から捉える必要がある。(2abc) で見たように、初級レベルから韓国語の負の転移の漢語動詞が用いられる。「공부(工夫)하다／勉強する」「부탁(付託)하다／お願いする」「시작(始作)하다／始める・始まる」などは頻度の高い動詞である。日本語からの負の転移を、初級レベルで 5 語、中級レベルで 10 語、上級レベルで 15 語の 30 語を目安として導入し、韓国語からは (28) のような 50 語を提示したい。この 50 語は初級から段階的導入が望ましいが、中級の始めに授業の内容に合わせてリストを提示するのも 1 つの方法であると考えている。

(28) 가출(家出)하다	家出(いえで)する
개학(開學)하다	新学期が始まる

거래(去來)하다	取引する
거론(舉論)하다	取り上げる
구박(驅迫)하다	いびる
궁리(窮理)하다	思案する・思い巡らす
낙서(落書)하다	落書きする
농담(弄談)하다	冗談を言う
단속(團束)하다	取り締まる
답장(答狀)하다	返事する・返答する
대답(對答)하다	答える
대비(對備)하다	備える
대신(代身)하다	代わりを務める
대접(待接)하다	もてなす・接待する
대출(貸出)하다	貸し出す・貸出しする
도모(圖謀)하다	企てる
명심(銘心)하다	肝に銘じる
방학(放學)하다	学期が終わり、学校が休みに入る
부탁(付託)하다	お願いする
비치(備置)하다	備え付ける
사과(謝過)하다	謝る
사정(事情)하다	頼み込む
선물(膳物)하다	プレゼントする
세수(洗手)하다	顔を洗う・洗顔する
시작(始作)하다	始める・始まる
실수(失手)하다	間違う・失敗する
아부(阿附)하다	ごますりをする・阿る
염려(念慮)하다	心配する

예매(豫買)하다	前もって買う
의심(疑心)하다	疑う
이사(移徙)하다	引っ越す・引っ越しする
입주(入住)하다	入居する
자초(自招)하다	自ら招く
작심(作心)하다	決心する
재수(再修)하다	浪人する・一浪する
접수(接受)하다	受け付ける
제고(提高)하다	高める・引き上げる
조심(操心)하다	気をつける・注意する
짐작(斟酌)하다	見当をつける
참견(參見)하다	おせっかいを焼く
참석(參席)하다	出席する・列席する
출입(出入)하다	出入りする
충전(充填)하다	チャージする
취급(取扱)하다	取り扱う
취소(取消)하다	取り消す
할인(割引)하다	割引する・割り引く
환승(換乘)하다	乗り換える
환전(換錢)하다	両替する
호소(呼訴)하다	訴える
호출(呼出)하다	呼び出す

「충전(充填)하다」の「충전」は最近日本の駅で「チャージ」の韓国語訳としてわりと目につくので、その写真を提示するのも効果的だと思われる。

「挨拶する」「重宝する」「退屈する」など日本語にしかない漢語動詞があるように、韓国語にしかない漢語動詞も（28）の50語を含め、1000語近くある。筆者に韓国語を母語とする日本語学習者から（28）のようなリストがもっとほしいとの声が複数届いている。「韓日漢語動詞7000」（仮称）を以てこのニーズに答える準備をし、辞書やテキストの付録の資料として提示したい。

6. おわりに

本稿では、日本の大学における韓国語の語彙教育、とりわけ漢語動詞の体系的提示のための「基本漢語動詞」の策定のたたき台の準備として、『日本語基本動詞用法辞典』（1989）と『デイリードイ・韓英辞典』（2017）から得られた《基本漢語動詞1290》の策定と両言語における正の転移と負の転移の様子を明らかにした。《基本漢語動詞1290》を分析し、正の転移1,057語、負の転移233語の内訳の提示もできた。

韓国語の初級・中級・上級レベルに導入できる漢語VNの語数についても目安を提示した。この数に韓国語では頻度の高い「축하(祝賀)하다／祝賀する」「변명(辨明)하다／弁明する」などは含まれていない。また『朝日新聞』の「社説」では頻度の高い「徹底する」も含まれていない。これに『朝日新聞』の3年間（2019–2021）の「社説」の頻度調査の結果を加え、「基本漢語動詞」のリストが韓国語教育の現場でもっと使いやすい形を目指したい。これは今後の課題にしたい。

*謝辞：本研究は、JSPS科研費19K00775（研究代表者：尹亭仁）の助成を受けたものである。

注

- 1) 張志剛（2014）は『読売新聞』（2010年）に用いられた漢語動詞を調べ、4,383語の2字漢語VNを取り上げている。
- 2) 同じ7000語であっても、対応の様子は多岐にわたっている。また片方の言語だけが漢語動詞の場合も多く、本格的な分析に取組むには時間がかかる。
- 3) 日本語における外来語の変遷については、沖森他（2006）および沖森他（2011）を参照されたい。
- 4) 語彙調査の詳細については尹亭仁（2022）を参照されたい。
- 5) 辞書形より活用形を重視したところもあり、見出し語の扱いなど規模の大きい辞書との違いがある。
- 6) 本学の中級クラスで確かめたところ、反応がよかったです。上級クラスではこのリストを配布し、成果を期待している。
- 7) 本学の初級共通テキストの『ワン・フレーズ・コリアン1』（2021）の18課に20語あまりの漢語動詞のリストが提示されている。それにこのリストと一緒に提示し、読み方の練習をさせるつもりである。単なる提示より初級レベルで必要なリストであることを強調すると反応も違ってくると思われる。

参考文献

- 沖森卓也・木村義之・陳力衛・山本真吾（2006）『図解日本語』三省堂
- 沖森卓也・木村義之・田中牧郎・陳力衛・前田直子（2011）『図解日本の語彙』三省堂
- 神奈川大学韓国語研究会（2021）『ワン・フレーズ・コリアン1』私家版
- 張志剛（2014）『現代日本語の二字漢語動詞の自他』くろしお出版
- 尹亭仁（2015）「日韓両言語における漢語動詞の「負の転移」をめぐって—2字漢語動詞を中心に—」『神奈川大学言語研究』37、pp.1-26、神奈川大学言語研究センター
- 尹亭仁（2019）「韓国語の漢語動詞の語彙調査（2）—『李箱文学賞作品集2006-2015』の分析を中心にして」『神奈川大学言語研究』42、pp.1-26、神奈川大学言語研究センター
- 尹亭仁（2020）「韓国語の漢語ヴォイスの語彙調査—金薰の散文『鉛筆で書く』（2019）にみるヴォイスの使用状況」『神奈川大学言語研究』41、pp.1-30、神奈川大学言語研究センター
- 尹亭仁（2022）「日本語母語話者に韓国語の2字漢語動詞を体系的に提示するための取組みについて」『神奈川大学人文研究所報』67、pp.103-119、神奈川大学人文研究所
- 尹亭仁・車香春（2014）「韓国語と日本語の2字漢語動詞に関する一考察—韓日辞典に見られる異同を手がかりに」『神奈川大学言語研究』41、pp.1-24、神奈川大学言語研究センター
- 尹亭仁・崔英姬（2018）「韓国語の漢語動詞の語彙調査（1）—『中央日報』の社説（2016年1~12

月) の分析を中心に—』『神奈川大学言語研究』40、pp. 129–151、神奈川大学言語研究センター

【辞書類】

〈日本語〉

小泉保他編 (1989) 『日本語基本動詞用法辞典』大修館書店

佐竹秀雄・三省堂編修所編 (2010) 『デイリーコンサイス国語辞典』第5版 (中型版) 三省堂

三省堂編修所編 (2017) 『デイリー韓日英辞典 [カジュアル版]』三省堂

松村明編 (2019) 『大辞林』第4版 三省堂

尹亭仁編 (2009) 『デイリーコンサイス韓日辞典』三省堂

〈韓国語〉

李基文監修 (1989／2003) 『동아 새 국어사전 (東亜新国語辞典)』第5版 東亜出版社：ソウル

【新聞】

『朝日新聞』「社説」(2019)、朝日新聞社

『朝日新聞』「社説」(2020)、朝日新聞社